

14 インド・チベットにおける瞑想と造形 ～密教的観想法（サーダナの世界）～

【全3回】／開催方法：オンライン

さくまるりこ
佐久間留理子

大阪観光大学教授
公益財団法人
中村元東方研究所理事



| | | |
|-----|-------------|-----------------------------|
| 受講料 | 会員料金：¥7,000 | 早割価格：¥6,000(納入期限：2027年3月2日) |
|-----|-------------|-----------------------------|

【日程・時間】【全3回】

2027年3月7日(日) 14:10～15:40

2027年3月14日(日) 14:10～15:40

2027年3月21日(日) 14:10～15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

インドにおいて密教的観想法（サーダナ）がどのように成立し、また、それがどのようにチベットにおいて受容され展開したのかを概観する。文献資料のみならず、関連する図像資料も提示する。

第一回 密教的観想法の成立背景として、インドにおける世界観、供養法、瞑想法、仏教パネオン（仏教諸尊の組織体）について概観する。

第二回 インドにおいて12世紀頃までに個別に成立した密教的観想法の集成に『サーダナ・マラー』（成就法曼）がある。バッタチャルヤ校訂本によれば、この集成には、仏、菩薩、女神、忿怒尊などの312の密教的観想法や儀軌などが含まれている。これらの中、仏・菩薩の密教的観想法を中心に上げる。

第三回 チベット大蔵経やチベットの蔵外經典に収録された密教的観想法について、インドのものと比較する。それによって、インドの密教的観想法の伝統が、チベット仏教においてどのように受容されたのかについて解説する。

【参考文献】

①観音菩薩

著者：佐久間留理子 出版社：春秋社 出版年：2015

②マンダラ観想と密教思想

著者：立川武蔵 出版社：春秋社 出版年：2015